

■第18回ブルーメール賞受賞
連載小説へ2V

モルダウ川の 七色波

森 榮枝
画／石川晴久



ドレスデン市のほぼ真ん中、エルベ河にかかる橋のたもとで、フリードリヒ・アウグスト強大王の金色の像が、夕陽を背にして馬の手綱を引き絞っている。子ども
の頃、エルザと二人でよじのぼろうとした像だ。

エルザはハインツより少し小さいだけだったのに、ハインツが楽に登れる像の台座に一人では登れないと言った。本当に登れなかったのだらうか。女の子に生来備わっているコケツトリーというものだったかもしれない。

「私が馬の足につかまるから、下から押して」

と頼まれ、スカートを頭からかぶりそうになりながらお尻を押し上げていたら、通りかかった大人に、

「そんな所へ上ってはいけない」と叱られたのだった。

その人は、子供があぶない、と思ったのか、像の尊厳を汚すと考えて止めたのか。

アウグスト強大王はエネルギーシユな人物で、建築や芸術にも精力を注いだが、手つけた女性も数知れず、産ませた子が少くとも三百人以上いたという。

そんな彼なら、かわいい金髪のエルザが台座へよじのぼるのを歓迎したかもしれないのに。

現在観光客に有名な、アルベルティナム（緑のドーム）と呼ばれる宝物館や豪華壮麗なツヴィンガー宮殿などを建てたのもこの王である。

エルザは叱られた照れかくしに全速力で走り出し、ハインツはこわい大人から逃げるチャンス、と自転車にとび乗って後を追いかける。

ハインツの家は畑や果樹の間に赤屋根の見えかくれする郊外にあったし、古めかしい宮殿などに興味は無かったから、めったにこの辺りへは来なかった。その日はたまたま買ってもらった新しい自転車を乗りまわしていたら、おてんばエルザに見つかって、いや、本当は石けり遊びをしているエルザの横を何度もすりぬけて見せびらかしたから、

「乗せて、乗せて」

とせがまれ、二人乗りでこんな所まで来たのだった。

二人はそのあと、どこへ行ったのだろうか。

その時だったか、又別の時だったか、やはりエルザと一緒にアウグスト通りの「君主の行列」を見に行った記憶がある。馬に乗った、ドレスデン市はじまって以来の歴代領主が、同じ騎乗の公子や宰相と共に、槍や矛を持った家来たちを従え、延々と何十人も、向かって左の方へ進んで行く。一人一人につけられた銘板から、ゲオルグ三世とかヨーハン二世とか読みとれるのがうれしくて、二人で大声で読み合った。

子供心には、ただ、すごく大きな壁画だと思い、従者たちが持っている飾り付きの槍などを珍しく眺めていたのだが、今見るとこれは精巧な陶芸作品である。領主たちの豪華な衣裳の模様や髪の詳細、後足で立った馬の腰の筋肉の張りぐあい、貴族と従者の容貌の違いなど、実に見事に写し出されている。落ち着いた黄色の地にグレーの濃淡で表わされたレリーフの色合いもすばらしい。ザクセンが誇るマイセン陶器の一つの見本である。

一九四五年、ハインツは、ヒトラークレーン生え抜きの空軍士官候補生としてイギリス空襲に参加した。その頃ドイツは圧倒的に優勢で、最新鋭戦闘機メッサーシュミットは、ロンドンをはじめ、そのもつと奥の町々を痛快なほどにやっつけていた。

しかし、その後、連合軍は勢いを盛り返し、ドレスデンは報復の空襲で壊滅的に叩かれたのだった。

当初、もう再建は不可能と言われたが、一九六〇年代市民の熱意と努力、それにソ連政府が力を貸して見事に復興した。芸術的、歴史的に価値のある宮殿や教会は、石のひび割れから三百年の色のくすみぐあひまで考えて綿密に再建されたという。エルザの家も、ハインツの幼い記憶とほぼ同じに再建されているが、その下に押しつぶされたエルザは戻らない。

教え込まれた通り、ゲルマンの血の誇りのために宿敵イギリスの首都を攻撃したことが、報復のドレスデン空襲になったとすれば、ハインツ自身があのエルザの青い

瞳を閉ざさせたことになる。

幼いころ、子供の目で見ていた懐しい故郷ドレスデン、武装を解かれて帰った時、手のつけようもないような瓦礫の山だったドレスデン、そして今、再建され観光客の行き交うドレスデン、ハインツの胸にはその三つが、別々の街のように平行して存在している。

「東」の国々が「西」の観光客に門戸を開いてから、ハインツはこの町も何度か訪れているが、観光客と一緒に見物して歩く気にはなれず、いつも、ホテルの周辺で時間をつぶしていた。

久しぶりに見た金色の王様と君主の行列は、ハインツの胸に懐しく、重く、痛かったが、ホテルに帰ってくる、皆はダイニングルームに集まって今日の観光の最後の楽しみにさざめいていた。

今夜は、ウィクトル・ユゴーも泊ったというホテル・ベルビニューに、日本人たちと一緒に泊る。入って行くお客の一人が、四人席の一つ空いている所へ手招いてくれた。ピアノに近く、ヴァイオリンを弾く人も横に見える。窓越しにはバラ園と芝生、そしてその向こうはたゆたい流れるエルベ河と暮れなずむ王宮のシルエツト、という最高の席だった。

「ツヴィンガー宮はどうでしたか？」

誰か答える人がいないかと、見渡しながら言ってみる。「ゲート」

隣のテーブルで向こうむきだった男がふりむいた。少しドイツ語ができるらしい。

「パロック文化はすばらしい。だが我々日本人には刺激が強すぎるようだ」

「何を見てそう思った？」

「どこの建物も人間の像があまりに多い。妖精といえバメルヘンに出てくる天使のようなものかと思像していたのに、妖精の泉」は二十体近いリアルな女性の裸像に囲まれていた」

大学には学者たちの、教会には聖人たちの像がいつぱ

い飾られているのが普通だから宮殿なら女性の像があつても当然だと思ふのだが、日本人たちにはそんなことが珍しいのか。ハインツは思わず笑つた。男も笑つたが、いやらしい笑いではないので、よかつた、と思つた。「それから、ブリュルセテラス、とつても、とつても、すばらしかつた」

女性の一人が片言の英語で言う。それは、エルベ河に添ってテラス状に高く作られた広い散歩道である。その辺りでエルベ河は大きく彎曲し、兩岸が一望にできる。王宮や芸術大学の建物を含む旧市街と、緑の中に赤い屋根や小さな教会の尖塔の見える対岸と、その間をゆつたり流れるエルベとの調和のとれた眺めは、ドレスデン市民の誇りの一つである。ハインツは微笑した。故郷をほめてもらうのは理屈ぬきでうれしいものだ。

楽士たちが、もの悲しいようなエキゾチックな曲を奏ではじめた。どこかで聞いたような、と思つていると、ブリュルセテラスをほめてくれた女が小さな声で、「サクラ、サクラ」と言う。

そうか、あの時、日独伊三国同盟締結記念に日本を訪れたとき聞いた曲だ。長い間忘れていたが……。

大ぜいの中から選ばれてヤーパンへ行く、と言つた時、エルザは青い目に空の色を映して驚き、羨ましがつたが、とても喜んでくれた。

「いいな、いいな、男はいいな。私だつて行きたい。ヤーパンつてどんな所だろう」

「男だつて皆行けるわけじゃないんだぞ」

「そうよね、ハインツは優秀なユージェントだからよね、よかつたね」

いつもなら皮肉つたりからかつたりするくせに、その時は本気で尊敬してくれた。どんなにうれしく誇らしかつたことか。

楽士たちは、日本の曲をこれ一つしか知らないのか、リズムを変えたりテンポを変えたりしながら、同じメロディを何度も繰り返して弾いていた。

街をS字状に貫いて流れるモルダウ川の兩岸に「塔の町」といわれるブラハの市街がある。ねぎ坊主のような聖堂の塔、鋭く尖つた教会の鐘楼、大学の時計塔、橋のたもと四角い見張り塔、それらが赤屋根の波をいろどつて、街全体がおとぎの国のようなだ。

ボヘミアの森やモラヴィアの丘に発した河川が、東独とチェコの国境近くで集まって北の方ドレスデンへ向い、エルベ河となる。モルダウはそのほぼ真中の支流で、多分支流の中で一番大きい。つまり、エルベ河を北海からのびた腕と見、ドレスデンを手首とすれば、ボヘミア盆地は掌でモルダウは中指である。美しいブラハはエルベの中指にはめられた指輪の宝石。ドイツではモルダウ川として有名だし、スメタナの曲の名もそう覚えているが、土地の人はモルダウとはいわない。チェコでの——ブラハでのこの川呼び名はブルダバ川である。

カレル橋は市内に十三ある橋の内、一番大きく、観光の名所となっている。今日も各国からの観光客でいっぱいであつた。両側に立ち並ぶ聖者たちの銅像も見事だが、西北の丘の上の王城も、ここからの眺めが一番良いといわれる。この橋の名は、ドイツ語読みにすればカールである。

末っ子のカールは十五歳、ハインツがヒトラーユージェントの一員として希望と理想に燃えながら充実した生活を送っていた年齢だ。そのころのハインツは、ひたすら規律に従い、訓練に励んで優秀なドイツ軍人の卵であつた。そして、三国同盟が成つた記念に日本と少年交流があつた時、選ばれてその人数に入つたのだつた。

地球の裏側に、自分たちとは余りに異なる世界を発見した驚き、それほど違う文化を持つていても、人間どうしにはたくさん共通点があるというもつと深い驚き。カールには、日本人やその生活など珍しくもない。テレビは日本どころか人類がなかなか踏み込めないような所でさえ食事をしている間に見せてくれる。彼は、かっこいい音楽グループにあこがれて劇場に通い、自分もド

ラムセットを欲しがる。

遅くできた末息子のことさらにかわいくて、欲しがる物はできれば買ってやりたい。しかし、次々と欲しい物がエスカレートする速さに戸惑い、母親が甘やかしすぎではないかと言ったのが、出がけの喧嘩の原因だった。「カールに次々と高い物を買ってやったのはあなたじゃないの」とパーバラは言った。

「日曜大工用の電動工具一式なんて、あの子には使いこなせもしないのに」

ひまさえあればテレビばかり見ている息子に、自分が何かの相手でもしてやればいいが、その時間が無いから、せめて手先を動かす道具でも与えれば、少しは物を創り出す喜びを知るきっかけになるかと思つたのだ。

「ロシニョールのスキー板だつて……」

あれはフランスへのツアーの仕事でたまたまその工場にも立寄つたからおみやげに買ったので、安く買ったのだ。ちょうど、そのツアーの間にカールの誕生日がはさまり、その日家においてやれなかつた償いも含まれている。自分なりの考えがあつて買ってやつた物に、いちいち文句をつけられたようで面白くなかつた。むつとした気持ちをそのままに(嫌な顔をしてだまつて背を向けて)出てきたのだった。

手の甲にとまつた小さな羽虫を、肩から力を抜くために吐いた息でついでに吹き払い、橋を東へ渡る。

地下鉄に乗るつもりで歩いている内に迷つてしまつた。

ブラハの街路は、放射状でも渦巻状でも甚盤状でもない。ただもうやたらに、ゆき当たりばったりに造られたような道路網である。三叉路、五叉路、行きどまり、が随所にあつて、その上、地図が又、まことにいい加減で頼りにならない。地図が不正確なのは、政府の方針で、わざとそうしてあるのだとも言われるが、よくこれで観光都市といえるものだ。

長いスカートにエプロン、頭にスカーフ、手には大き

な籠という、お伽話のさし絵のようななりをした老女が歩いて来たので道を尋ねてみるが、なかなか通じない。

ホテルの名をゆっくり繰返してみると、

「分かつた、ついて来なさい」という表情と身ぶり、今来た道を引返しはじめた。お年寄りにわざわざ連れて行つてもらうなど恐縮なので、

「道だけ教えてくれ」

と、こちらも身ぶりをしながら言ったが、いいから、いいから、という感じで市電の停留所へつれて行かれた。地下鉄の駅からは完全にはずれていたのでらう。

電車が来ると運転手に近づいて何か言った。運転手が、「パークホテル？」

という。うなずくと、乗れ、という仕種。切符を持っていないが乗る。すぐ動き出す。老女に、あわてて手を振つた。あちらも笑顔で手を振つていた。切符が無いことを手まねで示し、適当な小銭を掌の上に出すと、自分のポケットに入れた。料金としてではなく、チップとして受取つたようだ。

二十分ほど走つた所で、降りろ、という仕種をする。同じ停留所で降りようとしていた若い男に何か言い、男は降りて「ついて来い」という仕種。

気がつくとは彼は、濡らしたハンカチを右頬に当てて押さえている。歯でも痛いのか、申し訳ないことだ。

ホテルがはつきり見える角へ出た時、彼は左手を大きく動かして看板を示し、サインツの表情を見て、間違いないと納得すると、右頬をかばうように首を傾けておさえながら去つて行つた。

「ダンケ、ダンケ・シェーン、ダンケ・ゼーア」この言葉は多分通じる、と思ひながら、後ろ姿に大きな声で言った。

道の複雑さ、地図の不正確さ、標識の不備、そのすべてを補うものは、人々の暖かさであった。

(つづく)

■第13回神戸文学賞受賞作品

連載小説〈5〉

お夏

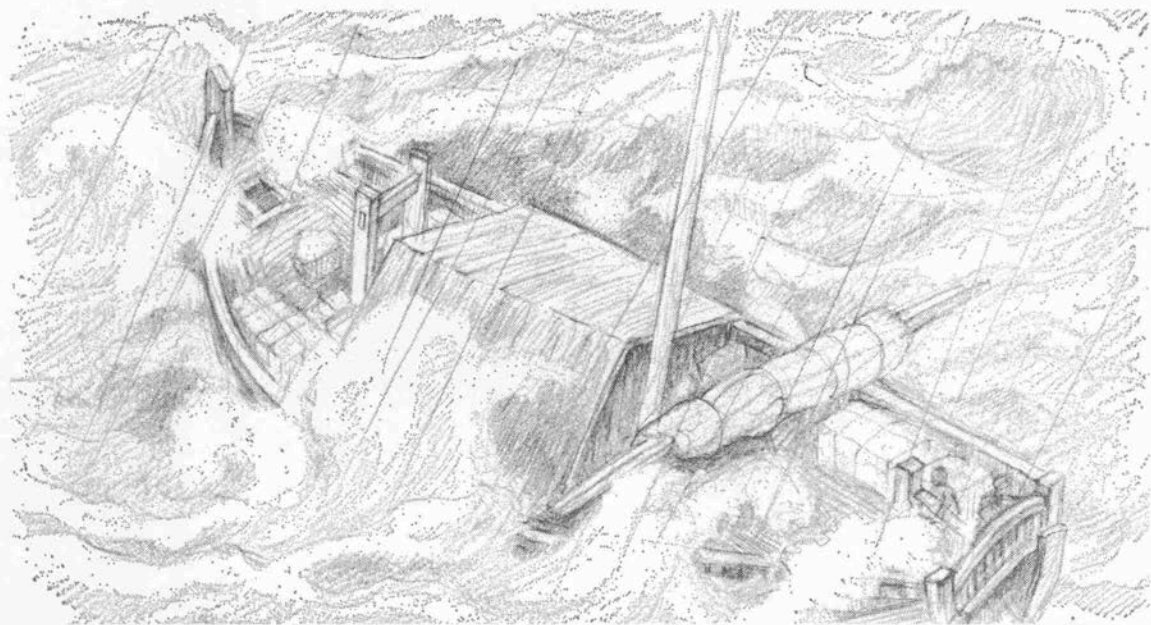
門^{もん}田^{でん} 露^{つゆ}

絵／大橋 良三

四月に入ってから、海が荒れることが何度あった。

その日も、九左衛門は時化^{しけ}の模様を見るため、昼前から蔵と見世の間を何度も行ったり来たりしていた。

室津から新しい荷が入る予定になっているのだが、それがもう一時^{ひととき}も過ぎていない音沙汰がないのだ。



蔵の二階からでは、はっきりした港の様子を知ること
は出来ない。

九左衛門が、奥に向って怒鳴った。

「清十郎は、まだか？」

その声音が、一段と焦りの色を濃くしている。

丁稚や手代を順ぐりに浜に様子を聞きにやっているの
だが、まだ何の手掛りもないのだ。

この仕事さえうまくいけば、競争相手の備前屋などに
勘定所御用達を奪われる心配はないと一息ついた矢先の
海難事故の予想は、九左衛門の意識を、一切の日常から
断っていた。

家督を継がせるべく掌中の珠のように可愛がっている
なつが朝から臥っけていても、

「お松、頼むでッ」

の一言で、意識の外に置いてしまった。

そのことは、むしろお松にとつては好都合であった。

なつのふしどが、風邪ではなく恋煩いだということを見
ぬいたのだが、同じ清十郎に恋するお松であったことは
皮肉であったが、手代とはいえもともとは造り酒屋の
息子を相手に叶うことではなく、その恋の成就の夢をい
ち早くなつの上に転嫁したのもお松であった。

春先から日を追って清十郎の虜になってゆくなつを
傍に感じるのが辛くなかったといえば嘘になるが、お松
は健気に身を引いた。

「かんにんなッうちがとつてしても……」

「なにいわはるのです。清さんはうちらと身分が違いま
すッ。うちに来ること何でもするさかい、お嬢さん、
きばりなはれや」

そう言いながらも、他の者に気取られないよう何食わ
ぬ顔で見世となつの部屋を行ったり来たりしていたお松
が、裏に回り、障子に口をつけて声を落した。

「ぼつぼつでっせ。そうせな危ぶまれます」

「へえ。すぐに」

中から清十郎の押さえた声が出た。

朝から人の目を忍んで、なつに付き添っていた清十郎
が、お松の合図で一旦裏木戸から外に出て、清十郎の代
りに浜へ行っている丁稚の留吉が浜から帰って来るのを
見計って、見世に入る手筈になっていた。

「留吉どんなら、うちの言うことなら何でも聞いてくれ
るさげえなッ」

というお松の提案であった。

清十郎は、素早く障子戸からにじり出ると急いで厠へ
入った。

「今度の仕事が成功したら、勘十郎をなつの婿にするで
ッ」

「清十郎さん以外のものになるのはいややッ」

という九左衛門となつの想いの食い違いをまざまざと
感じたが、外目には真面目な手代でありながら大事な一
人娘を寝取っていることへの罪深さより、なつへの愛し
さが勝ってしまうのを、清十郎はどうしようも出来ない
でいた。

八且さんと勘十郎を説得出来なかった時は、大阪へで
ても、どこへでも連れて逃げてやるでッ、しかし、このま
ま勘十郎さえ帰らななら……

清十郎は、ふと、さした心の魔に嫌悪して裏口へ飛び
出して行った。

すぐ向こうの船場川の土手伝いに、襦袢でも転がるよ
うにばらばらと漁師が、飾磨津の方に走るのが目に入っ
た。

浜の方も、いつの間にか吹き荒れた風が止み、空の明
るみにつれて湿った大気が勢いつけて吸い上げられてい
く。

「清さん、あきまへんだした。やっぱり」

駆け戻って来た留吉がそれだけ言うと息を切らしてそ
の場にへたり込んでしまった。

「讃岐丸の破片だす」

清十郎は、焼印のある襦袢を留吉から受け取ると見世に
駆け込んだ。

九左衛門は、無惨な顔をして上櫃あげがまにへなへなと座り込んでしまった。

頭を垂れ、両腕までだらりと落した九左衛門の失望が見世中に伝染して、老番頭はじめ手代も丁稚も、ひっそりと立ちつくした。

「おおごと、おおごとヤーツ」

突然、沈鬱な見世の空気を破って、河岸の男が駆け込んで来た。

生死もはっきりしないぼろぼろの勘十郎が運び込まれたのである。

「息は、あるのか！」

その叫んで仁王立ちした九左衛門は、絞り損ねた雑巾のように戸板の上に転がった勘十郎の姿を見て、またへなへなと座り込んでしまった。

血の気が失せて黙って首を振る九左衛門の眼の先で、誰かが叫んだ。

「まだ、息がある！」

勘十郎の胸をまさぐって耳に当てた中番頭が、しゃがれ声を張り上げ、奉公人を手際よく指図し、見世は小さな戦場となった。

湯を沸かし、濡れた着物を引き裂き、乾いたものと取り換える間も、勘十郎の胸は誰かによって擦られ、蘇生術が施されていく。

九左衛門は、少し落ちついたのか慌しさの中を縫って、腕組みしたまま行ったり来たりしている。

「もし勘十郎が助かったとしても、この様子じゃ舟や積荷が無事なわけがないわッ」

その大きな喪失感、勘定所御用達を失うばかりか、但馬屋の屋台骨をも覆しかねない不安へとつながった。

騒ぎが一段落した時、お松が清十郎にこっそり耳うちした。

「お嬢さまが、呼んではりませえッ」

一人でいたたまれない想いをしていたのか清十郎の顔を見るなり、なつはその膝に取りすがった。

「勘十郎と女夫めおとにされるくらいなら、死んだ方がましやッ」

なつは身を揉んで訴えた。

なすすべもなく長い黒髪を愛撫し続ける清十郎の頭の中に、なつにせがまれていた駆落ちの成否が、現実感のないまま駆けめぐっていた。

清十郎を知って急激に成熟したなつの軀には、まだ大人の女になりきれない幼びた部分が残っていて、清十郎には愛しさが募る。

なつの願ひなら、どんなことでも叶えてやりたいとも思う。

夜半を過ぎて、見世の方から勘十郎の場違いな万歳の声を耳にした清十郎は、反射的になつを連れて逃げる決心をした。

「わてにはあア、前からこうなることが分ってたような氣イがするんだす」

清十郎に決心を聞いたとき、お松は何の迷いもなく、思いをこめて二人にいった。

「もうすぐ、見世のもんは寝てしまわはります。そしてら直にお二人は家を出るんだす。後の心配は何もいりません」

お松は、自分が手助けしないと二人が身動き出来ないとの氣負いかから、人が変わったように毅然としてことを進めた。

なつにあれば持ったか、これは持ったかと世話を焼きながら、自分は室津の漁師の子だから、川の渡しも、室津から大阪に密航する早船も手配する算段はついていて、と口から泡を飛ばしながらまくしたてた。

その様子は、まるで我が恋の成就をなつに託すのだといわんばかりだ。

なつは氣ばかり焦って身繕いが上手く出来ず結局、身の囲り品の取りまとめから当座の費用の立て替えまでお松の手を借りるはめになった。

「さあ、お嬢さん、ぐずぐずしてはおれまへんエ、夜が



明けるまでに手野の渡しまで行ってもらわんと、手筈が狂うてしまいますッ」

お松は、並でない決意を秘めて二人を裏木戸から押し出した。

姫路城下の両端の辻番所前をすりぬけた清十郎となつは、足をゆるめず今岩村を過ぎ、手野村に入った。

ここには青山川(夢前川)を渡る「手野の渡し」があるが、清十郎はお松から教えられた通り四丁ばかり上流へ行って浅瀬を渡るつもりであった。

昨日の雨で水嵩が増し、足場のよい所を見つけるのに手間取ったが、やっと見つけた浅瀬を、清十郎はなつを背負って渡った。

背中になつが「ぶら(小田原提灯)」を持ち、必死で清十郎の足許を照らす。

「寒うないかッ」

「うん」

なつは、清十郎と二人だけになれたことを何よりも軀じゅうで喜んでゐる。

青山、山田、大田の村々も転ぶような足どりで通りぬけた。

鶴林の宿場町にかかる頃、東の空がうすぼんやりと白んできたので、用心して早めに灯りを消した。家を出て四里の道のり、大方二時(約四時間)を要していた。

ここもお松の言つた通り、本街道から浜へ下り田圃道をさらに西に走る。

追われる者の気ぜわしさが、時が経つにつれて二人の胸をしめつける。

△今ごろ、お松はどうしてるやろ▽

大騒ぎになっている様子が思い浮かぶ。

浅野村の西の林田川の渡しもなんとか歩いて渡ったものの、西構村の正条川(揖保川)は広さ八十間の船渡しである。

渡し船の小屋の前で、清十郎となつは荒い息をひそめて立ち止まった。

小屋から何やら大勢の話し声がある。
△追手かも、しれへん?▽

二人は、同時にそう思った。
無意識のうちに、清十郎もなつも近くのケヤキの古木の群れ立っている暗い所へ駆け込んだ。

じっと息をひそめて小屋を見守っていると歌声や手拍子が聞こえてきた。

△船待ちの間に、一杯のんでるのやッ▽
そう思った清十郎の鼻先へ、

「清十郎はんか、わいや、助市やで、松ちゃんから頼まれた助市やッ」

と、低い声がかかった。

山陽道正条の宿場町から、室津街道が、分かれている。助市の川船で正条川を渡り、屋津坂の峠の下まで近道を送ってもらった。

「この大名峠さえ越えたら、しめたもんやで、大名浜に他の船を回しとくさげえ、もう、ちっとの辛抱やでッ」

助市と別れてから一里ほどで、なつが一步も動けなくなつてしまった。

「もう、あかん。逃げられへん」

清十郎は、無言でなつを背負った。

「行かなあかん」
強い声で言った。

「行くねんでッ、なつ、どこまででも行って生きなあかん」

なつは、負われたまま清十郎の肩を抱いた。

「うち、これでもう、いつ死んでもええ」

「阿呆ッ。これからやないかッ」
そう言つた清十郎の目の向こうに、木立ちを透して、夕陽に光る海が見えた。

「海や。室津やでエ」
清十郎の足が、速くなった。
曲りくねった屋津坂を、大名浜を目ざして転げるように駆け下りた。
(つづく)

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員
継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確かめのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは—

〒650 神戸市中央区東町113ノ1 大神ビル9F
 テレホンサービス (24時間)
 TEL・078-802-3531
 サービス No. 48. BOX No. 00012

★レーガン大統領の占星術師来日講演に10名様ご招待!



ジョン・キッグリー女史

米大統領夫妻の厚い信頼を得、ホワイトハウスを動かしたと言われるジョン・キッグリー女史。今回「占星術は科学を超えられるか?」と題して東京、名古屋について神戸で講演が行なわれます。

'80年の米大統領選、'86年のイラン・コントラ事件、さらには'87年暮れのINF全廃条約締結日の日時決定など、世界中に大きな影響を与えうるビッグシーンでさまざまな予言を与えています。今回大塚製菓株式会社のご協力で神戸っ子倶楽部会員様を抽選で10名様ご招待。

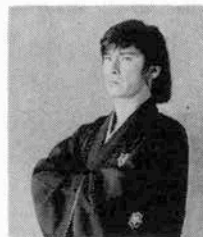
日時 6月8日(木) 18時30~20時30 (開演18時)
 場所 神戸国際会議場 国際会議室

■聴講ご希望の方は住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、〒650 神戸市中央区東町113の1 大神ビル9F月刊神戸っ子「大塚製菓J・Q講演会」係(5月20日消印有効) お問い合わせ(078) 331-2246

★「ミュージカル坂本龍馬」に割引御優待

7000円(1・2階席)→6300円に

6月3日(土)~25日(日)、新神戸オリエンタル劇場で時代劇ミュージカル「坂本龍馬」が上演されます。脚本、作詞を松山善三、音楽は甲斐正人が担当、「命の躍動」ともいえる熱き龍馬を舞台せましと描き上げます。主演、龍馬に西城秀樹。他も雪村いづみ、若葉ひろみ、羽賀研二と多彩なキャスティング。歴史的ヒーロー龍馬が音楽と踊りのなかでいかに甦るか!見どころ一杯の「龍馬」に会員様を1割引で御優待します。



「自由」のリアリティを語りかけてくる龍馬

■割引チケットご希望の方は「にしむら珈琲・北野店」にて神戸っ子倶楽部会員証を御提示の上お買い求め下さい。お問い合わせ先(078) 242-2467

★新規会員様のご紹介

(神戸市中央区) 高嶋ゆきえ
 (神戸市東灘区) 恩地 浩子
 (西宮市桜町) 山田 昇一
 (神戸市垂水区) 川合 広保

(神戸市須磨区) 島田 光夫
 (三原郡三原町) 多田 以久
 (芦屋市大東町) 中条 智子
 (神戸市灘区) 石井 郁子
 (神戸市中央区) 岡田 稔
 (神戸市桜ヶ丘) 西脇 葉子 (順不同、敬称略)

Cocktail of KOBE



LA PASSION

恋に、仕事に、人生に

常に時代の先端に目を向け、その先を創り出していかなければならないフアッションコデーイナーター。トレンドイナ店の情報は、いち早くキャッチして必ず訪ねていくのが習慣になっている。オールドニューもそんな店のひとつだった。

打ちっぱなしのコンクリートを使った外観、一枚使いの重厚な木のカウンタ―に、高い天井といったインテリア。そしてハイセンスは会話のできるバーテンダー…。大人の社交場としての条件がピッタリ揃っていて、今では仕事の興味を離れて個人的に通うバーになっている。

シャ―リーン・W・ダイヤ

シャ―リーン・W・たいや、台湾生まれ。18歳で来日、神戸デザイン学院フアッション科卒業。アパレル、インテリア等の会社勤務後、07年にシャ―リーン・オフィス設立。フアッションコデーイナーターとして、また最近ではディレクター、プロデューサーとしても活躍。

ラ・パシオン

バカルディラムホワイト	30ml
グランマルニエ	10ml
フレッシュライムジュース	10ml
ブルーキュラソー	1tsp
グリーンペパーミント	1tsp
以上をシェークしてクラッシュアイスを入れたグラスに注ぎ、ライムスライス、ミントの葉を飾り供する。バーテンダー・宇座忠男	

GUEST HOUSE

**OLD
NEW**

神戸市灘区六甲台町6-2
078-881-6641 17:00~24:30

なぜか心WUKIWUKIする5月
 ペットで心のゆとりを育てるのも
 良いかも……



ホームセンター

ブリコ
Brico

- ☆日曜大工用品 ☆カー用品
- ☆つり具用品 ☆園芸用品
- ☆家庭用品 ☆ペット用品



阪神新在家駅南 午前10時～午後8時 ☎078(851)4391 第3水曜日定休

100台収容の大駐車場完備

神戸のうまいもんとドリンキング

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
布引店 ☎232-2600 三宮店 ☎332-3003 住吉店 ☎453-3737
兵庫駅前店 ☎575-5306 ポーアイ店 ☎303-1188
ポーアイプラザ店 ☎303-3232

北海道郷土料理 蜷 夷
中央区中山手通1-4-13
東門筋東門会館ビル1階 ☎331-7770

和食くれない
三宮生田新道通側中央KCBビル2F ☎331-0494

たこ焼たちばな
三宮センター街(旧柳蔭) ☎331-0572

民芸酒造 五事
炭焼ステーキ
元町3丁目目黒側 ☎391-3156

炭焼やきとり トリドリ
中央区北長狭通2-5-1
タイシンセンタービル2F ☎391-3028

そば処 木曾路
手打ちうどん
市役所前南口ビルB1F ☎231-1235

どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539

鍋しやぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

刺身 銀座
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

手打そば 庵
市役所花時計北・ハニービルB1 ☎331-0290

季節茶屋 一輪一房
中央区三宮町1-8-1
きんぷらザビル1F ☎331-2280

天ぷら 天ぷ
中央区下山手通2-11-24
大金ビル1F ☎392-3630

SAKE & KAISEKI 喜兵衛
中央区山本通2-1-1
コーナーハウス2階 ☎242-5411

懐石料理 馳走
中央区山本通4-26 ☎222-0022

蟹土料理 千石船
きんちが店 ☎391-4875 山手店 ☎391-9314

活伊勢志料理 中納言
神戸プラザホテル ☎331-7918 元町東店 ☎392-1585

懐石料理 楽珍
阪急西口店/阪急三宮西口北レイン・プラザ3-4F ☎321-5200
阪急西口店/阪急三宮生田新道 西村ビル3-4F ☎332-1717

日本料理 松
中央区加納町4-9-11 ☎332-2285

うどん&和菓子 ちから餅
上アロード店 ☎331-3250
壺水店 ☎707-4466

生そば・寿し 丸万
中央区中山手通1-27-11 ☎231-7291
☎221-8379

料亭・ラウンジ 北野異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎222-2001

磯料理・寿し 花群(はなむら)
中央区中山手通1-7-6リッチライトビル1F ☎391-7881

日本料理 かじき
中央区中山手通4-2-2 ☎332-6029

家庭料理 花庵
神戸市中央区中山手通1-4-6 コーペビルB1F ☎392-3226

日本料理 三宮川廣
中央区北長狭通3-12
オレゴンビル2F ☎332-4545

ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎391-4858

ステーキハウス ゴックスタッド
ステーキハウス料理
と蟹料理/和洋食の店
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131

ステーキハウス 果林
神戸プラザホテル2F(元町駅前) ☎331-4558

ステーキハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎221-1086

ステーキハウス 花
中央区布引町4-2-7 神戸花ホテルB1 ☎221-1087

メキシコ料理 ティファアーナ
の お 店 中央区中山手通1-21-13
パルココーポラスビル1F ☎242-0043

フランス料理 ビストロドゥリヨン
中央区山本通2-13-6 ☎221-2727

イタリアン ピエール
中央区北野町2-8-9 異人館倶楽部(本部)Ⅱ ☎242-0055

ポリネシア料理 海
神戶港第4突堤ホーターミナル ☎331-0301

レストラン 三光
中央区北長狭通2丁目8の6 ☎331-0226
☎321-5861

ステーキハウス 六段
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎331-2108

フランス料理と神戸ビール レストランフック
フランス風調理 夢香亭
中央区栄町通2-9-11 ☎321-3453
☎321-3207, ☎332-4129

ドイツレストラン ハイデルベルグ
中央区山本通2-8-15 ☎222-1424

ワインレストラン ローター・ローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎222-3200

韓国宮中料理 鳳仙
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスビル6F ☎391-2147

レストラン やまと
中央区生田町1-4-20 ☎242-2020

シニアロード料理 スパイスレストラン ぶはら
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎331-1734

神戸ビフテキ指定店 和黒くわっこく
市東区新開地 中央区中山手通1-24-1 ☎222-0678

イタリアンレストラン ガスライト
神戸ワシントンホテル9F ☎331-6111

フレンチレストラン エル・パンチョキタノ
中央区北野町3-2-4 ☎241-1344

中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎231-4531

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎241-6952

SAPPORO BEER RESTAURANT ニューミュンヘン神戸大使館
三宮生田ロード ☎391-3656

ステーキハウス イー藤
中央区御幸通7-1-20 大信ビル8F ☎232-3031

炭焼ステーキ フランス料理 GOONY KITANO(クニー)
中央区北野町2丁目7-18 リンズキャタリー ☎242-2562

ステーキハウス 神戸館
中央区下山手通2-2-9 ☎321-2955

広東料理 神戸元町別館牡丹園
元町1丁目協和銀行北側小路西入る ☎331-5790-6611

レストラン ラ・ターブル
中央区山本通3丁目3番8号(パールビルB1) ☎241-3170

ナリ料理 グラン・ミカエラ・イ・ダゴ
中央区中山手通2-17-12 ☎241-0367

サンパとイタリアン料理 コパカバーナ
中央区中山手通2-1-13 ☎391-0888 ☎332-6694

ステーキハウス スターキハウス・コウベ
中央区北長狭通1-2-3 二鶴寺ビル3F ☎332-6685

メキシコ料理 チコアンドチャーリー
中央区山本通1-7-11 コーナーハウスDo4F ☎221-8041

とんかつ 網焼きステーキ もん
中央区北長狭通2-12-13 生田新道 ☎331-0372

イタリアン レストラン プロフィーロ
中央区加納町2-5-1 ☎261-2620
兵庫布引ビル1F

広東料理屋 TEITEE(ティテ)
中央区下山手通3-11-17 ☎333-6888

★喫茶 喫茶 たちばな
中央区元町通3-9-2 ☎391-1051

サロンテイ カレット
元町一番街 ☎321-1739

エドラセール
新聞会館1F ☎221-8155

ケーキ&喫茶 アンテノール
北野本店/中央区中山手通1-22-13 ☎242-3797

喫茶 ガーデニア
中央区東町113-1 天神ビル1F ☎321-5114

LE CAFE ガレ
中央区山本通2-3-14 ☎242-7144

氷水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店・中央区中山手通1-26-3 ☎221-1672-231-9524

三宮店・国鉄三宮駅南口 ☎241-2777
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎242-2467
(会員制)3F事務所 ☎242-1880
阪急・三宮東口側 ☎332-5727

喫茶 モーツァルト
中央区山本通2-6-11
グラウンドマンション1F ☎241-3961

喫茶 ん
中央区三宮町2-9-6(トアロード) ☎391-1589

喫茶 英屋
神戸国際会館前側 ☎251-4562

喫茶 館 葡萄屋
三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶 館 仏蘭西屋
三宮・ワウロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・ワウロード(神戸市役所前) ☎251-3231

ウイーン菓子 モーツァルト三宮
中央区磯上通8-1-29 ☎251-3616
カザベラビル1F

ウイーン菓子 モーツァルト元町
中央区三宮町3-1-3 ☎332-0886
神戸丸山向い

茶 所 ナイ
中央区下山手通6丁目2-7 ☎341-7376

コーヒーラウンジ カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎222-3535

純喫茶 元町サントス
中央区元町通2-3-12(元町通1番街浜側) ☎331-1079

コーヒーラウンジ City of City
中央区三宮町3-9-1 ☎331-1117

チョコレート エポック
中央区元町通3-8-8(浜側) ☎331-3694

喫茶 テルミーニ
中央区国鉄元町駅構内 ☎332-1682

炭火焙煎珈琲 珈琲倶楽部
神戸市中央区北長狭通1-10-6(生田新道)
ムーンライトビル1F ☎332-2016

炭火焙煎珈琲 萩原珈琲店
神戸市中央区中山手通2-21-3 ☎222-1457

Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN
神戸市中央区八幡町4-6-16
(阪急六甲駅下車南口西南約3分)

フルーフショップ フルーフ(バー) ベニマン
神戸市中央区北長狭通4丁目3番24号 ☎331-8584

コービン C A R A T
ラウンジ キャラット
阪急三宮駅東口側 白鷺ビル3F ☎331-5141

アイスクリーム Tatoufo(タトウフォ)
中央区加納町4-7-7 ☎392-7425

炭火焙煎珈琲 カフェ・ド・パーク
神戸市中央区山本通2-14-26
クッタ11号館2F ☎231-3671

COFFE LOUNGE ソフィア
国際ビル店 中央区浜辺通2-1-30
国際ビル1F ☎251-2472

COFFE LOUNGE ティファアーナ
海南ビル店 中央区元町通1-14-13
海南ビル1F ☎392-5483

手作りケーキの店 元町店 中央区元町通1-14-13
☎392-0887

★和菓子 あられの店 あられの小箱
中央区楠町3-3-8 ☎341-5670

★CLUB club 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627

club 小万
中央区東門筋中島ビル3F ☎391-0638-4386

club なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626

クラブるふらん
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854

club Moon Light
B A R Moon
三宮・生田筋Club ☎331-0157/Bar ☎331-9554

club コトブキ
中央区三宮本通り ☎331-1875

CLUB N E N E
中央区北長狭通1-5-9 ☎331-4143-5625

★STAND & SNACK レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

ジャズライブハウス アルパトロス
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトブラザ2F ☎231-3300

サロン 太田
生田新道シマダ靴店2F ☎331-5023
PM12:00-6:00(珈琲タイム)

アフタッシュン♪音楽の家 エトワ
中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755

スナック 雅子
神戸市中央区北長狭通1-5-9 KCBビル3F ☎332-0051

レストラン・バー トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2 ☎331-2122
神戸ワシントンビル1F

サロン 神戸時代
中央区中山手通1-23-10
モンシャトウゴトビル ☎242-3567

カクテルラウンジ サヴェイ
高梁山側 テキの店北 ☎331-2615

ミュージックラウンジ サントノール
上アロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトブラザ2F ☎231-3886

スタンド 千里
中央区下山手通2-11-1 ☎331-4730
K. S. Mビル1F

書 舌 洞 でっさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778

S T A N D マッシュケナダ
中央区中山手通1-4-6 ☎331-5587
コーペビル4F

Adult Disco セキーナ
中央区加納町4丁目7-11(元北野坂ビル8F) ☎332-0666

本広光夫のミュージックサロン ティファアーナ
中央区中山手通1-21-13 ☎241-1771

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトブラザ1F ☎242-0288

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田新道) スーパーセンター
ランダムハウス45rpm 虎造坊 薬師 エスロイヤークラブ

スタンド かてな
中央区中山手通1-7-7 英健ビル1F ☎331-1316

スナック アルダルト
中央区北長狭通1-20-2 笹原ビル5F ☎321-5885

韓国スナック 世宗
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスビル3F ☎392-1727

ミュージックラウンジ DAY by DAY
中央区下山手通2丁目11-5 ワシントンホテルB1F ☎392-4173

洋酒・喫茶 オアシス
神戸市中央区布引町4-1-1
取三宮駅構内 ☎241-9861

ラウンジ LANTAN
中央区北長狭通1-10-6 ムーンライトビル5F ☎333-6151

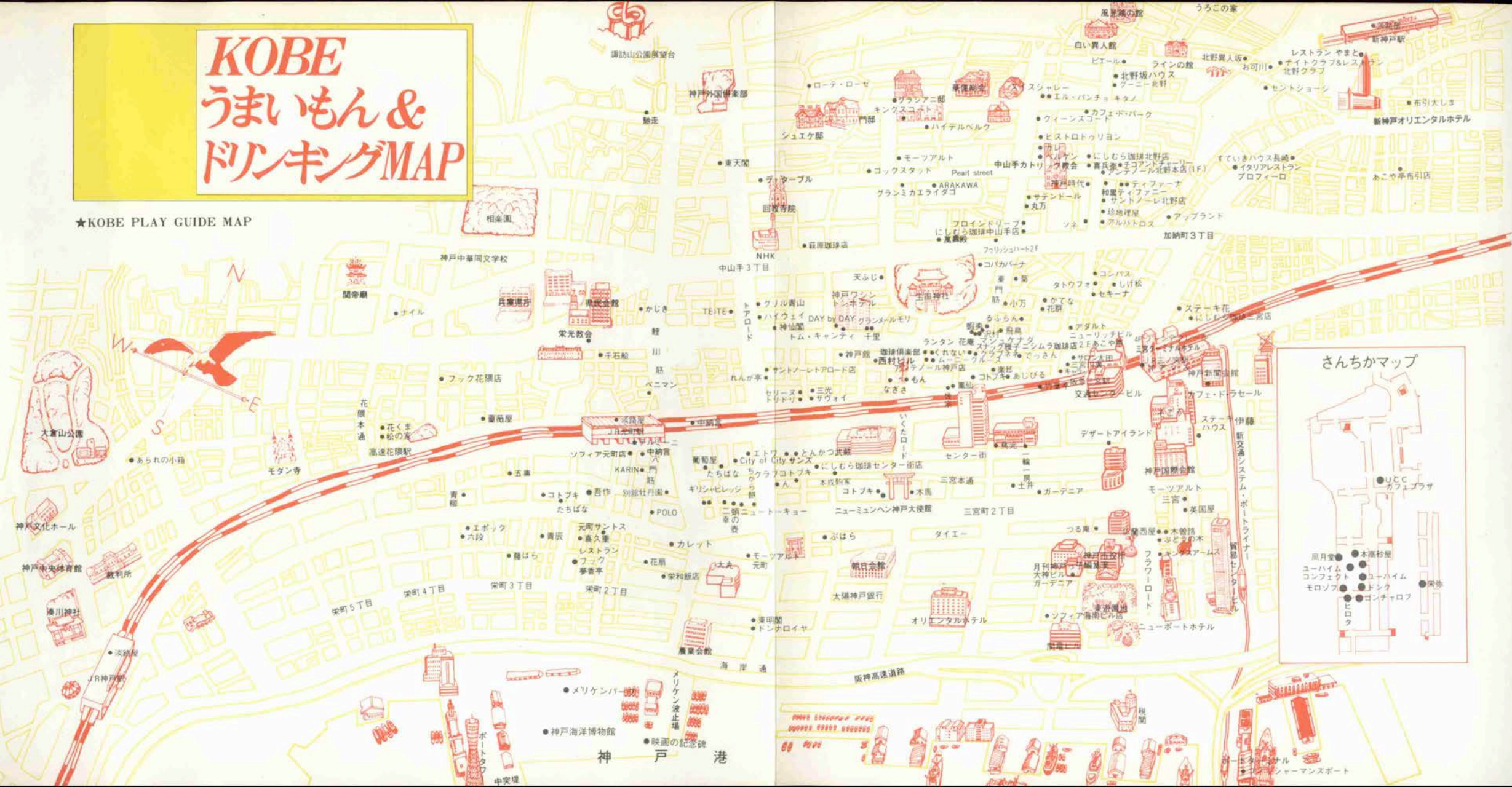
ピアノラウンジ グランメール・モリ
中央区下山手通2-11-1 ☎391-2369

サロン フーリッシュハート
中央区中山手通2丁目 ☎242-0039

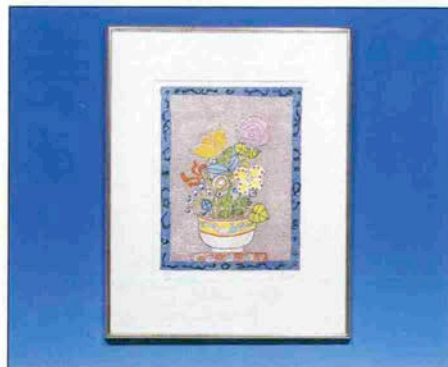
KOBE

うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



Shopping



● 画材・額縁

美しい花たちのささやきに耳を傾ければ、まるで花園にいるよう。優しい夢を見せてくれるアートをあなたの傍に。

末積製額

トアロード・大丸前
☎331-1309



● TEA・ROOM

シックなムードが漂う落ちついた店内で飲む香り高いサイフォンコーヒー。くつろぎの雰囲気と深い味わいをお楽しみ下さい。

LASSERE

中央区雲井通7丁目
神戸新聞会館1F
☎221-8155



● アクセサリー・ブティック

深みのある柔らかな輝きや木のべっ甲とシャープなラインのシルバーがクロスした魅力は、爽やかな5月の青空のようです。

La POMME SINCE 1873

元町一番街山側
☎331-6195



● 手づくりの心をつたえる

「いらっしやいませ」——明るく、元気が声が響く本山店。ビタミン類の豊富な健康ブレッド「シモンズコーナー」も充実しています。

Cascade

本山店
☎451-8125



神戸発。おしゃれなケーキとパイの店

オリジナルケーキとパイ。
新鮮な材料をおしゃれに
仕上げました。



阪急川西能勢口駅前に誕生したア
ステ川西・TEMPO175。その3階
のK's caféは、小粋な街角のカ
フェテラス。遊び心いっぱいのお
しゃれなショップ。メニューにも
ちょっとこだわってみました。



K's
café

アステ川西・TEMPO175 3F
☎0727-55-2346
10:00~20:00

設計
施工



企画・設計・施工のオールマイティ
入船建装株式会社

店舗・住宅・家具・室内装飾・一般建設業 知事(般58)106787
神戸市灘区新在家南町1-2-1 ☎078-851-3191

入船株式会社 トータルインテリアショップ
新在家南町1丁目2-3 六甲パインモール内 ☎078-851-2841

神戸洋菓子倶楽部

SEIYO KASHI CLUB

FOURCAYS
SINCE 1986

seit 1986

ゲミートリッヒな 空間を

神戸洋菓子倶楽部もこの4月で3周年。よりゆったりとしたひとときを過ごして頂くために、新たに Gemütlich Cafe を3階にオープンいたしました。広くなって選びやすくなった1階と共に、フーケの洋菓子をお楽しみ下さい。

■1F フーケグラン(西洋菓子の総合店舗)

■2・3F ゲミートリッヒ・カフェ

女性を中心に巾広い層に人気のあるフーケのティールーム。アンティークな中にもダンさをミックスした神戸らしい店です。

談 ■三和建築 藤井幹大社長



左より藤井幹大社長、インテリアデザイナーの嶋原英夫さん、フーケ・間島部長。

シュラインロード店/ PHONE 078・392・0103

西洋菓子処フーケ 神戸市中央区山本通4-22-28

- 諏訪山店(フーケ庵)078-222-0707 ●中山手店(サロンド・テ・フーケ)078-221-2290
- 元町店(カフェド・フーケ)078-392-0678 ●三宮店(テールド・フーケ)078-391-0145

設計・施行



株式会社 三和建築

神戸市兵庫区湊町1-39 ☎078-575-5158(代)



今、神戸に中国の新しい味——。樹樹東門店がOPEN



KAISENSHUKU・JUJU

樹樹

海鮮酒家

神戸中央区中山手通1丁目5-4東門前筋 マハラジャ南角地下

☎078(322)3255 17:00-0:00月曜日定休

北野坂店

神戸中央区中山手通1丁目22-10北野坂 象ビルとなり ☎078(231)5551

設計・監理
CREATION OFFICE

FORM DESIGN

フォルムデザイン

亀井 広志

神戸市中央区東町123-1貿易ビル7F 706 Phone (078) 333-7576 FAX (078) 333-7469

施工

株式会社

村上工務店

大阪市北区本庄西3-9-11

関石産業ビル3F

TEL.(06) 372-2924

味な関係

できました。

グルメシティー神戸でもとりわけ人気の高い神戸ワイン & 神戸ビーフ。ワインの本場ヨーロッパのモンデセレクションで金、銀、銅賞に輝いた本格的な味。そして世界に名だたる神戸ビーフを使ったステーキの旨さ。このふたつが出合っただけで生まれた、神戸ワイン弁当。淡路屋からグルメのあなたにお届けします。



神戸ワイン弁当 神戸ワイン AVEC 神戸ビーフ
1,500円(消費税込) JR神戸駅・新神戸駅にて発売
(本体価格1,457円)

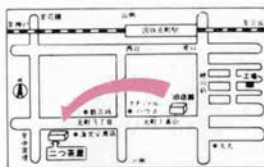


〒650 神戸市中央区相生町3丁目1番1号 電話(078)351-1682(イロハニ)

メロウタイプの自然な甘さ
フレッシュバターとスイートポテトの
新しいデュエット。
ポテトとパイをミックスさせた
今、人気のハイカラなお菓子
フレッシュポテト“神戸っ子”



700円より



二つ茶屋

本店 中央区元町通3丁目7-9 ☎(331)0755(代)
岡本店 東灘区岡本1丁目5-5 ダイソービル内 ☎(452)0570
工場 中央区三宮町3丁目10 ☎(331)0796



文化は最高のインテリア

元町6丁目の街角に
画廊喫茶ロココー
4月10日open

創意工夫
大胆細心
積極果敢

これが私たちのモットーです。



㈱ロココー企画設計は、文化は最高のインテリアだと確信しています。『住いの空間画廊喫茶ロココー』は、貸画廊をもって文化に親しみ、お茶を飲みながら人と人の輪を大切にコミュニケーションの場としてご利用願ひ、住宅コンサルタントとして営業、提案の活動が出来れば幸いです。(グループ展、個人展の絵画、書、手芸、陶芸、写真、生花、などに)

●貸し画廊 木～火曜日(6日間)午前10時～午後8時/6日間¥40,000(展示即売別途料金ナシ)

住まいの空間
画廊喫茶ロココー

☎(078)361-4370(代)

〒650 神戸市中央区元町通り6丁目3-22

株式会社

ロココー企画設計

TEL. (078)811-2143(代)

FAX. (078)811-2094

工場 (078)841-6292 宮町4-1-19

〒658 神戸市東灘区住吉宮町3丁目14-15

畫廊 藝 び び び

〔 10:00~19:00
最終日 17:00迄
月曜休館 〕

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目6-3

☎(078)391-4137

—— 大丸前 ——

たじま画廊

〒650 神戸市中央区三宮町3丁目1~8 大丸前 (銭服部2F)

TEL078-332-0733

☐ ギャラリー あじさい

神戸市中央区三宮町1丁目8-1-305 さんプラザ3F

☎(078)331-1639・1067

(A.M.11:00~P.M.6:00)

5/25~6/3 森岡完介展(版画)

ギャラリー
ビブレ **vivre**

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5の26

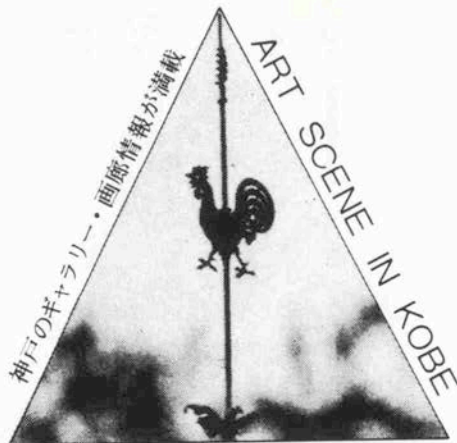
三宮ビブレ21ビル7F

ビブレカルチャーセンター内

☎(078)331-6446(代) 331-7460

〈貸画廊使用規約〉 ●会期 / 6日単位(水曜~月曜)

●時間 / 午前11時~午後7時 ●使用料 / ¥150,000



KOBE GALLERY GUIDE

神戸ギャラリーガイド

ザンパル 市民ギャラリー

〒651 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 ザンパル4階

TEL. (078) 231-1166・2233

AM10:00~PM7:00(最終日PM5:00まで)木曜日休館

貸ギャラリーとしてご利用ください

ギャラリー ほりかわ

神戸市中央区三宮町2丁目10-11

(ドルメンビル2F)

TEL (078) 331-2485(事務所)

332-4877(ギャラリー)

KITANO MAP



にトータル展開する。特にレディースは淡いスモークカラーが、大人のソフト・トラッドを演出。店長の上間さんは元気いっぱいの素敵な女性。気軽に相談のしてくれるので、優雅なイギリスブランドに一度、トライしてみてくださいは…。

■山本通1-7-6 泰富ビル1F ☎241-3833

北野から発信される様々なメッセージがこめられた季刊誌「BRAVURA(ブラブラ)」が創刊された。“BRAVURA”とは“優雅に…”という意味のジャズ用語。オシャレでキュートなこの雑誌は、北野の街を自由に散歩する為の案内人、

表情豊かな街の姿がページ間から見えてくる。

■問い合わせ先

ベアーズパートナーシップ株式会社

季刊誌・BRAVURA編集室 ☎222-1266



フランス料理
北野クラブ
中央区北野町1丁目5-7
☎222-5123
11AM~2:30PM
(ランチ/ワインズランチは2:30PMまで)
5PM~10:30PM(ディナー)

Golf and Sundries House
KITANO
Kitano, Kobe
中央区北野町4丁目8-3
ジャスナムアベニュー2F ☎242-5382

神戸で最初に公開された異人館
うろこの家
中央区北野町2丁目
☎242-6530

異人館のユーハイム
ラインの館
中央区北野町2丁目10-24
☎222-6266
10AM~6PM 第3木曜日休

神戸割烹
お可川
中央区北野町1丁目5-10
☎222-3511
11AM~9PM

スキャンディナビ料理と世界の民族音楽の店
ゴックスタッド
中央区山本通 回教寺院前
☎242-0131
5PM~0:00AM 水曜定休

フランス料理
グラシアニ
中央区北野町4-8-1
☎242-0597 火曜休 予約制

フランス料理
ゲーニー北野
中央区北野町2丁目7-18
リンズギャラリーB1F
☎242-2562

手づくりのシフォンケーキとサンドイッチ
ファミリア
北野坂ハウス
中央区北野町2(北野坂)
☎222-3535
11AM~6PM 月曜休

ワインレストラン・ワインハウス
ロテロゼ
中央区北野町4丁目9-14
☎222-3200

フランス料理
ビストロウリオン
中央区山本通2丁目13-6
☎221-2727
正午~10PM 月曜休

英国風レストラン
St. George Japan
中央区北野町1丁目2-17
☎242-1234
11AM~3PM(ランチタイム)
5PM~11PM(会員制)

会員制レストラン
インターナショナルゾーン
CASABLANCA CLUB
カサブランカクラブ
中央区北野町3-1-6
☎241-0200・222-0182(バビロン)
入会金10,000円 お食事2,000円~
17:00~24:00 (フルコース)

料亭・ラウンジ
北野異人坂
中央区北野町2丁目9-22
☎222-2001
11AM~6PM(ティールンチタイム)
6PM~11PM(料亭&ラウンジタイム)

ギャラリー・ティールーム
神戸時代
中央区中山手通1丁目23-10
モンシャウコトフキビル
☎242-3567
11AM~5PM(ティールーム) 土曜休
6PM~12PM(ドリンクタイム) 日祝休

フランス料理
ジャン・ムーラン
中央区北野町3丁目1-1
☎242-4188
11:30AM~2PM
5PM~10PM 水曜休

★展望橋の家

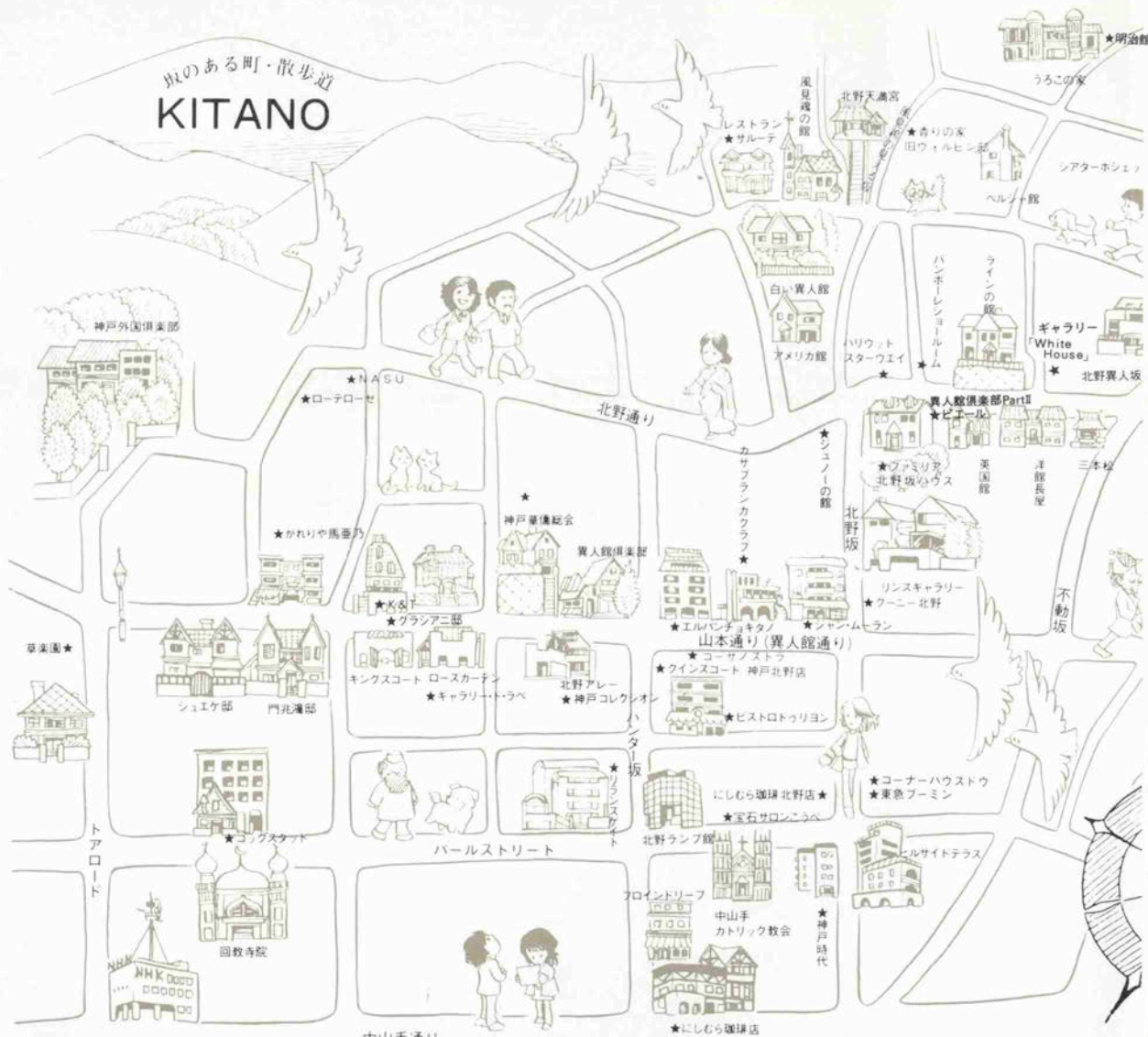
★北野クラブ

★お可川

★セントジョージズ



坂のある町・散歩道
KITANO



中山手通り